

【災害時の安否確認方法(災害用伝言サービス)】

○ 災害用伝言ダイヤル(171)の利用方法

災害時に、固定電話、携帯電話・PHS等の電話番号宛に安否情報(伝言)を音声で録音(登録)し、全国からその音声を再生(確認)することができます。

<操作手順>

- ① をダイヤルします。
- ② ガイダンスに従って録音の場合は を再生の場合は をダイヤルします。
(暗証番号を付けて録音・再生を行うこともできます。)
- ③ ガイダンスに従って、連絡をとりたい方の電話番号をダイヤルします。
(03等の市外局番で始まる電話番号の場合、市外局番からダイヤルします。)
- ④ 伝言を録音・再生することができます。

<利用できる電話>

災害用伝言ダイヤルは、加入電話(プッシュ回線、ダイヤル回線)、公衆電話、ISDN、携帯電話・PHS、IP電話から利用可能です。(詳細はご利用の電話会社にお問い合わせください。)

ただし、伝言の録音・再生は、被災地の方の電話番号宛に行う必要があり、この電話番号は03等の市外局番で始まる電話番号、携帯電話・PHSの電話番号、IP電話の電話番号が対象です。

災害用伝言ダイヤルの詳細については、運営しているNTT(東西)のページをご覧ください。

- ・NTT <http://www.ntt.co.jp/saitai/171.html>
- ・NTT東日本 <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>
- ・NTT西日本 <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

○ 災害用伝言板の利用方法

携帯電話・PHS のインターネット接続機能で、被災地の方が伝言を文字によって登録し、携帯電話・PHS 番号をもとにして全国から伝言を確認できます。(スマートフォンでのご利用については、各社のページでご確認下さい。)

<伝言の登録方法>

- ① 携帯電話・PHS から災害用伝言板にアクセスします。
(災害時は各社の公式サイトのトップ画面に災害用伝言板の案内が表示されます。体験利用の際はメニューリスト内からアクセスしてください。)
- ② 「災害用伝言板」の中の「登録」を選択します。
(登録は被災地域内の携帯電話・PHS からのアクセスのみが可能です。)
- ③ 現在の状態について「無事です。」等の選択肢から選び、任意で 100 文字以内のコメントを入力します。
(状態の複数選択や、コメントのみの利用も可能です。)
- ④ 最後に「登録」を押して、伝言板への登録が完了となります。

<伝言の確認方法>

- ① 災害用伝言板にアクセスします。
(伝言の確認は PC 等からも行うことができます。)
 - ・NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
 - ・KDDI(au) <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
 - ・ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>
 - ・ワイモバイル <http://dengon.ymobile.jp/info/>
- ② 「災害用伝言板」の中の「確認」を選択します。
(確認は全国からのアクセスが可能です。)
- ③ 安否を確認したい方の携帯電話・PHS 番号を入力し「検索」を押します。
- ④ 伝言一覧が表示されますので、詳細を確認したい伝言を選択してください。

災害用伝言板の詳細については、運営している携帯電話・PHS 各社のページをご覧ください。

・NTTドコモ災害用伝言板

https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/index.html

・KDDI(au)災害用伝言板サービス

<http://www.au.kddi.com/notice/dengon/>

・ソフトバンク災害用伝言板／災害用音声お届けサービス

<http://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/>

・ワイモバイル災害用伝言版サービス

<http://www.ymobile.jp/service/dengon/>

○ 災害用伝言板(web171)の利用方法

パソコンやスマートフォン等から固定電話や携帯電話・PHS の電話番号を入力して安否情報(伝言)の登録、確認を行うことができます。

<操作手順>

- ① 災害用伝言板(web 171) URL:<https://www.web171.jp/> へアクセスします。
- ② 連絡をとりたい方の固定電話番号や携帯電話番号を入力します。
- ③ 伝言を登録・確認することができます。(事前に設定することで閲覧者を限定することもできます。)

災害用伝言板(web171)の詳細については、運営している NTT(東西)のページをご覧ください。

- ・NTT東日本 <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/>
- ・NTT西日本 <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>

○ 災害用音声お届けサービスの利用方法

専用アプリケーションをインストールしたスマートフォン等の対応端末から、音声メッセージを送信することができるサービスで、現在、NTTドコモ、KDDI(au)、ソフトバンク、ワイモバイルの各社でサービス提供されています。なお、平成 25 年 4 月 1 日より災害用音声お届けサービスを提供している通信事業者間で音声メッセージの送付が可能になりました。

<スマートフォンの場合の操作手順>

以下のアプリケーションを各社のアプリマーケットや Google Play、Apple Store からダウンロードして下さい。

- ・NTTドコモ 「災害用キット」
- ・KDDI(au) 「au 災害対策」
- ・ソフトバンク 「災害用伝言板」
- ・ワイモバイル 「災害用伝言板」

<フィーチャーフォンの場合の操作手順>

音声ファイルを受信した際はSMSで通知が来ます。なお、一部機種を除き、メッセージの送信を行うことは出来ません。

災害用音声お届けサービスの詳細については、運営している携帯電話各社のページをご覧ください。

- ・NTTドコモ http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_voice/
- ・KDDI(au) http://www.au.kddi.com/notice/onsei_otodoke/index.html
- ・ソフトバンク <http://mb.softbank.jp/mb/service/dengon/about/voice/>
- ・ワイモバイル http://www.ymobile.jp/service/dengon_voice/

災害用伝言サービスは、災害発生時に電気通信事業者により自主的に運用されるものですが、以下の体験利用日にも運用されており、体験することができます。

- ・毎月 1 日、15 日
- ・正月三が日（1 月 1 日～3 日）
- ・防災とボランティア週間（1 月 15 日～21 日）
- ・防災週間（8 月 30 日～9 月 5 日）

なお、電気通信事業者によっては、これ以外にも体験利用日を設けている場合があります。また、各地域で開催される「防災訓練」の際にも体験利用可能となる場合があります。（各電気通信事業者により異なる場合がございますので、詳細はお使いの固定電話又は携帯電話事業者へお問い合わせ願います。）

家族や友人、職場の同僚たちと体験利用日に使い方を確認するとともに、災害時の安否確認方法を予め決めておくなど、いざというときに備えるようにしましょう。